

令和4年度 市民の声一覧(令和4年4月1日～令和4年9月30日)

受付日	区分	件名	市民の声の内容	担当課	回答(対応)の内容
4月	観光・イベント	よさこい祭りについて	<p>高知新聞で、今年のよさこい祭りの開催を迷っているという主旨の記事を見て、私からの提案を述べさせていただきます。</p> <p>結論から言いますと、「今年こそは、いつものよさこい祭りを、通常開催するべきです！」「新型コロナウイルスに係る騒ぎ」に関しては、既に理論的、根拠的にも破綻しており、ただなんとなくの空気感だけで、時間が経過していることは、多くの人が気付いていることだと思います。何かをきっかけに、状況が変わるのを待っているのではないかと感じます。</p> <p>そこで、この高知を代表する祭りを、通常開催することで、一気に流れを変えることができるのではと考えます。</p> <p>一定の反対意見は当然あると思いますが、このおかしな現状に、なんとなくでも気付いている人はかなりの数いると思います。「国の方針に逆らうようなことはできん」という意見もあるかと思えます。</p> <p>しかし、高知県を代表する歴史的偉人で、高知駅前に立つ幕末維新の志士も、当時は「幕府に楯突いて…」と誰にも相手にされなかったことを考えると、我々に流れる維新の志士の血が騒ぎませんか。我々が尊敬する偉人たちのように、勇気を出して、思い切った方針転換を今こそ図るべきです。</p> <p>この高知県から流れを起せば、周りで様子見している自治体の方々も、賛同してくれる方々も出てくるはずです。仮に、賛同者がいなくても、正しいことを言い続けることは大事かと思えます。</p> <p>どうか、よさこい祭りを通常開催し、熱い、楽しい、夏の高知を復活させてください。そして、このおかしな状態に終止符を打つきっかけを作ってください。</p> <p>微力ながら、私自身もお手伝いできることはさせていただきます。</p>	観光魅力創造課	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、よさこい祭りが2年にわたって中止となり、祭りを楽しみにしていた踊り子や観客の皆さんは非常に残念に思われたことと思います。観光関連事業者やよさこい祭りに携わる事業者の皆様へのダメージも非常に大きく、本年度も中止となれば、今後のよさこい祭りの開催に大きな影響が出ることも考えていかなければならないと思います。</p> <p>当然ながら、よさこい祭りの開催による新型コロナウイルスの感染拡大や、市民・県民の皆様の健康被害の拡大は防がなければなりませんので、本市も、踊り子やスタッフ、観客の安全・安心を確保した上での開催方法を、祭りの主催者である「よさこい祭り振興会」をはじめ関係者の皆様と共に協議を続けています。</p> <p>ウイズコロナの中では、従来通りの開催は困難と考えていますが、形を変えながらも、よさこいの火を絶やさないよう、可能な限り「本場高知のよさこい祭り」の開催を、関係者一丸となって目指していきたいと考えております。</p>
5月	観光・イベント	よさこい祭り	<p>よさこい祭りを開催すると発表されていますが、県内のレベルはまだまだクリアじゃないと思います。ゴールデンウィークのおかげで、感染者増えました。注射を打ったから大丈夫と勘違いされてる方が多いのではないのでしょうか。</p> <p>注射を打ってれば、感染者が増えても危機感は無くなるのでしょうか。</p> <p>まだ1日に、当たり前のように100人超えていますよ。今日は、300人超え…</p> <p>伝統行事だから…という声も聞きますが、それで感染者が増えたら最悪のパターンになるのでは無いのでしょうか。確かに徳島は阿波踊り開催されるようですが、それは徳島は感染者が、四国4県でダントツに少なく、かつ汗や唾液を他人に散らかしてしまわないからだと思われます。よさこいは、違いますよね。狭い商店街で、観客も間近。汗や唾液も飛んでくる距離。踊り子はマスクして、練習も本番も迎えてくれるのでしょうか。</p> <p>市中感染も流行っている中、なぜよさこいが開催の基準に至ったのか、詳しく説明していただきたく存じます。</p>	観光魅力創造課	<p>よさこい祭振興会総会において、「第69回よさこい祭り」は中止とし、通常開催よりも日程や会場数を縮小した「2022よさこい鳴子踊り特別演舞」を開催することが正式に決定されました。実際の開催の可否については、令和4年8月1日を基準日として、国や高知県の発出する措置や対応ステージにより判断されることとなっています。</p> <p>特別演舞の開催に当たっては、国から示された「基本的対処方針に基づくイベントの開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について」をもとに「感染防止安全計画」を各会場が策定し、安全計画に沿った感染防止対策を実施していくとともに、参加チームに対しても「参加者(踊り子、チームスタッフ)感染症予防対策」を配布し、感染拡大防止の徹底を促していくとのことです。</p> <p>よさこい祭りについては、令和2年から2年連続で中止となったことにより、観光や旅館・ホテル業界はもちろんのこと、衣装や鳴子、地方車の製作、バスの運行、ステージ設営など、よさこい祭りに携わる事業者の方々は大きな打撃を受けています。よさこい祭りの開催を待ち望んでいる多くの踊り子や観光客の皆様がおられることもあり、本年も中止となればさらに多くの方面に大きな影響が出るのが考えられ、昨年から関係者一同、感染症対策を実施しながらの開催方法について、協議を重ね、先の決定に至っており、本市も、市民の皆様、踊り子やスタッフ、観客の皆様々の安全・安心を確保した上での開催について、主催者であるよさこい祭振興会をはじめとする関係者とともに、引き続き協議を続けてまいります。</p>